



令和2年度施政方針

令和2年の第1回区議会定例会は2月19日に開会し、2年度一般会計予算案や各種議案を審議しています。開会にあたり濱野区長は、区政運営の基本方針と施策について所信を表明しました。

○施政方針の全文は、区ホームページでご覧いただけます。

未来につなぐ東京2020大会

レガシーを残し、品川区の未来を支える礎として

2020年、いよいよ東京2020大会が開催されます。

品川区では、かねてから「子どもたちへの夢のバトンタッチ」と「まちのにぎわいと発展」のスローガンを掲げ、機運醸成やまちづくりにさまざま取り組んできました。現在では、区内開催競技であるホッケーのスタジアムが完成し、周辺の道路整備や無電柱化も進んでいます。また、街なかや交通機関にも、大会のエンブレムやキャラクターが多く見られ、区の応援キャラクターもイベントなどで活躍するなど、機運は高まってきました。

令和2年度は、これまで培ってきた機運醸成などの事業の集大成を行い、大会後には、それらをレガシーとして未来の品川区を支える礎とします。



2年度予算の主な項目(案)

●東京2020大会の体感	92,618千円
●パラリンピック競技を応援	63,512千円
●「しながわハウス」設置	415,277千円
●オリンピック・パラリンピック教育の推進	100,358千円
●児童センター・すまいるスクールでの競技体験等	5,893千円
●区立保育園での競技体験等	3,108千円
●幼稚園・保育園 東京2020大会応援園児の安全対策	11,247千円
●主要駅・観光地を結ぶ船の運航	46,600千円
●舟運通勤等社会実験	57,178千円
●花いっぱいおもてなしロード	19,972千円
●区立公園のミスト設置	10,000千円
●水辺のライトアップ	613,570千円
●東京2020大会期間中ごみ収集を強化	34,230千円
●訪日外国人向けプロモーション強化とレガシー創出	20,198千円

品川区の将来像を具現化する品川区長期基本計画

新たな品川区の道を拓くために

品川区を取り巻く社会経済状況は、この10年で大きく変貌を遂げました。人生100年時代という超長寿社会の到来をはじめ、多文化共生や多様な生き方、さらにはAIなどに代表される新技術の活用など、新たな時代への対応が必要となっています。こうした課題認識のもと、区の未来の道筋を描く、新たな長期基本計画を検討してきたところです。

さまざまな分野の方にご参画いただいた策定委員会での議論を経て、昨年12月に計画素案の答申をいただきました。この素案をもとに、新たな長期基本計画を策定いたします。

令和2年度は計画の初年度であり、計画実現のための大切な年となります。この計画を強く推進し、品川区の新たな道を拓くため、スタートダッシュをする予算として、実行していきます。

未来につなぐ4つの視点と

「地域」「人」「安全」の3つの政策分野

前回の計画策定から10年が経ち、「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」の実現を目指し、成果をあげてきました。一方で、社会経済状況は大きく変動し、新たな課題にも直面しています。

こうしたことから、新計画では将来の動向を踏まえ、4つの視点(「超長寿社会に対応する視点」「多文化・多様な生き方を尊重する視点」「^{きょうじん}強靱で魅力あるまちを未来につなぐ視点」「先端技術を活用して課題解決と発展を図る視点」)を取り入れた計画としました。また、新たなニーズへの対応と取り組むべき施策の体系を分かりやすくするため、3つの政策分野(「地域」「人」「安全」)に分類し、それぞれを連携して取り組むことで、多様化する課題に対応していきます。

2年度予算案として編成した主な項目については、2・4～7ページで紹介しています。



品川区長期基本計画

「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」のさらなる実現へ向けて



問い合わせ 企画調整課（☎5742－6606 Fax5742－6870）

今後10年の区政の指針となる「品川区長期基本計画」とは？

品川区は、2008（平成20）年4月に策定した「品川区基本構想」に掲げる区の将来像「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」を実現するため、2009（平成21）年4月に「品川区長期基本計画」を策定（2014（平成26）年改訂）し、実効性ある取り組みを着実に進めてきました。このたび、2018（平成30）年度をもって計画が終了したことから、区内外の社会経済状況の大きな変化を捉えるとともに、今後の将来動向についても十分に考慮したうえで、新たな長期基本計画を策定しました。

本計画は、「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」のさらなる実現に向け、今後10年間にわたる区政の課題を明らかにし、将来に向けた区の方針と取り組みを示すものです。

未来につなぐ
4つの視点

訪れたい、住みたい、住み続けたいと思える魅力的で持続可能な品川区を築くためには、今後大きく変化していくであろう将来の動向を踏まえた未来志向の視点が必要です。

本計画は、目標年次である2029（令和11）年までに想定される課題の解決やその後の品川区の未来を見据え、次の4つの視点を踏まえて策定しています。

1 超長寿社会に対応する視点

「人生100年時代」ともいわれる超長寿社会では、年金、医療、介護などの社会保障の持続性を確保していくことはもとより、すべての人が元気に活躍し続けられ、安心して暮らすことができる社会づくりを推進する必要があります。

2年度予算の主な項目（案）	
●受動喫煙防止対策の強化	9,791千円
●コンテナ型屋外喫煙所の設置	28,995千円
●国有地を活用した障害者施設などの整備	1,295,049千円
●障害者グループホーム等整備費補助増額	57,005千円

2 多文化・多様な生き方を尊重する視点

人々の価値観やライフスタイルの多様化、グローバル化が進む中、性別、年齢、障害の有無、国籍・文化的背景などにかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが参画・活躍できる豊かな地域社会をつくる必要があります。

2年度予算の主な項目（案）	
●多文化共生啓発事業	6,435千円
●性的マイノリティ向け交流スペースの提供	600千円
●子どもや若者の活動拠点整備の検討	6,115千円
●障害者スポーツの理解・普及促進	9,387千円
●特別支援学級の整備	54,120千円

3 強靱で魅力あるまちを未来につなぐ視点

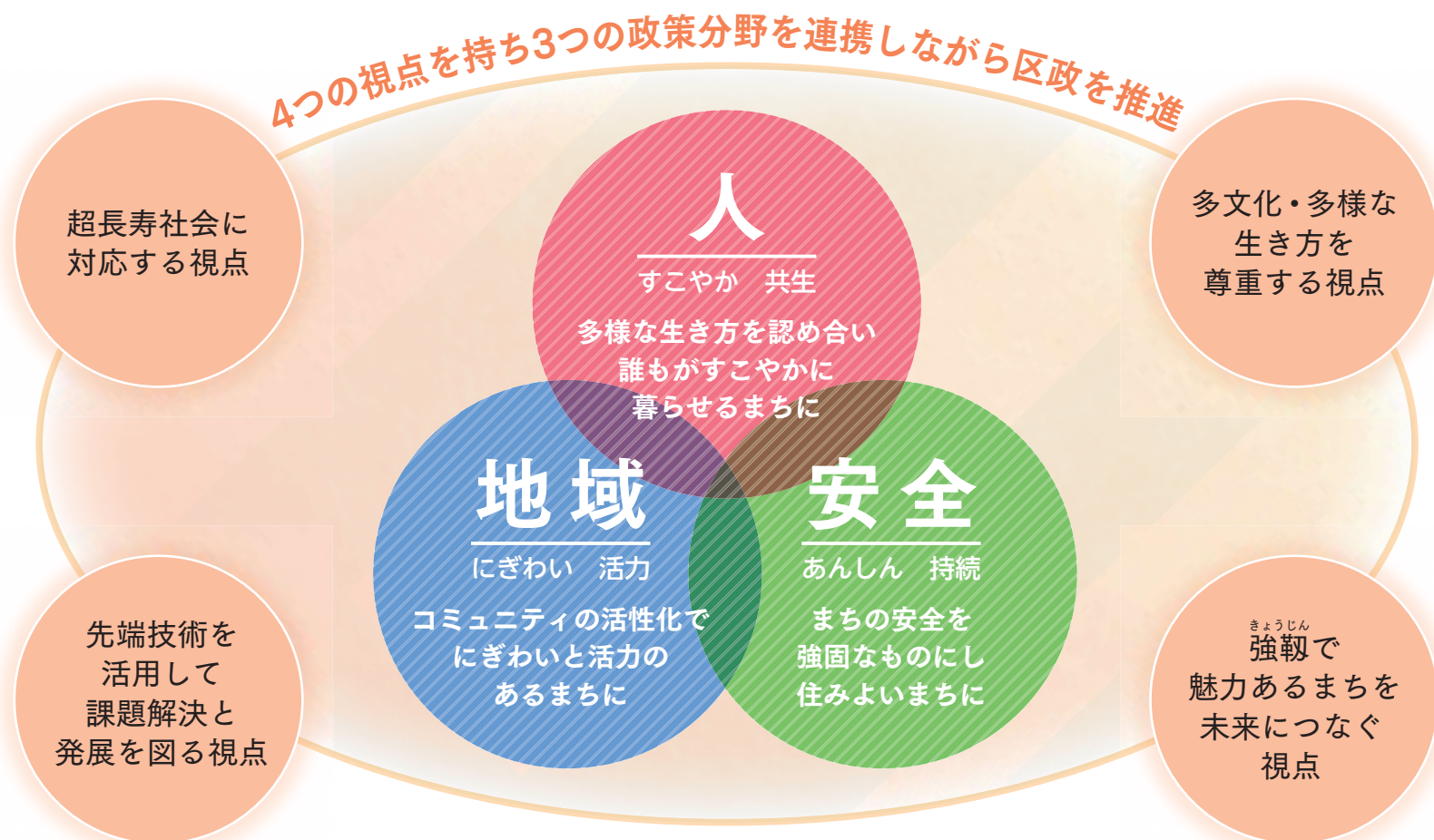
大規模自然災害等に対し、自助、共助、公助による災害対策を今後も推進する必要があります。また、多様な主体が連携しながら、良好なコミュニティの形成、地域の伝統・文化の継承、地域経済の活性化等を行うことで住みたい・住み続けたいと思えるような、活気と魅力にあふれる地域づくりを行う必要があります。

2年度予算の主な項目（案）	
●避難所の対応強化～停電対策と避難生活の環境改善～	30,630千円
●災害時における避難行動要支援者への支援の充実	9,673千円
●災害時のドローン・スマートフォンアプリの活用	10,717千円
●無電柱化の推進	18,000千円
●区の活力を生み出す商店街支援の強化	153,151千円

4 先端技術を活用して課題解決と発展を図る視点

技術革新が著しいICT（情報通信技術）、AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）、ロボットなどの新たな技術を活用し、人々の働き方や生活様式、健康管理、教育、新しい産業の創出・発展など、区民生活に関わるあらゆる分野での課題解決と発展に向けた取り組みを進める必要があります。

2年度予算の主な項目（案）	
●プログラミング教育の推進	5,687千円
●AIチャットボットによる区民サービス向上	34,851千円
●RPA・AI-OCR活用による業務効率化	27,821千円
●国民健康保険料Web口座振替受付サービスの導入	26,309千円
●キャッシュレス決済の拡大による区民サービス向上	6,501千円
●創業・スタートアップ支援の充実	109,205千円
●情報通信業への支援強化	98,818千円



「地域」「人」「安全」の 3つの政策分野

前述の「未来につなぐ4つの視点」と世論調査等から浮かび上がる区民ニーズに基づき、取り組むべき施策を分かりやすく示すため、「地域」「人」「安全」の3つの政策分野で構成する計画体系とします。

1 地域 にぎわい 活力

- 政策の柱1 誰もがつながる魅力ある地域社会の実現
- 政策の柱2 学びとスポーツの楽しさが^{ひろ}拡がる環境づくり
- 政策の柱3 伝統・文化を継承し親しむ環境づくり
- 政策の柱4 地域の活力を高める産業の振興
- 政策の柱5 まちの魅力を活かした都市型観光の推進
- 政策の柱6 魅力的で良好な都市景観の形成
- 政策の柱7 水と親しむみどり豊かなまちづくり

2 人 すこやか 共生

- 政策の柱8 地域における共生社会の実現
- 政策の柱9 生涯を通じた健康づくりの推進
- 政策の柱10 子どもの笑顔があふれるまちの実現
- 政策の柱11 未来を切り拓く^{ひら}学校教育の推進
- 政策の柱12 青少年の成長と自立の支援
- 政策の柱13 高齢者が安心して暮らせる環境づくり
- 政策の柱14 障害のある人がいきいきと暮らせる環境づくり
- 政策の柱15 平和で人権が尊重され多様性を認め合う社会の実現

3 安全 あんしん 持続

- 政策の柱16 区民を災害から守る対策の推進
- 政策の柱17 地球環境にやさしいまちづくり
- 政策の柱18 安全と安心を体感できる地域社会の実現
- 政策の柱19 区民と進める交通安全のまちの実現
- 政策の柱20 地域特性を活かした計画的なまちづくり
- 政策の柱21 快適な交通環境の整備



コミュニティの活性化で にぎわいと活力のあるまちに



誰もが人とつながり心豊かに暮らせるよう、地域コミュニティの活性化やICT(情報通信技術)を活用した産業の振興など、区民のさまざまな場面での活躍がまちのにぎわいや活力の創出につながる取り組みを推進します。

地域にぎわい 活力 分野の主な取り組み

政策の柱1 誰もがつながる魅力ある地域社会の実現

- 地域課題を解決する自発的・自主的な活動を支援する
- 地域の活動を支える拠点施設の機能の充実・活用を図る
- 地域のつながりの醸成と安定した団体運営に向けた支援をする



区民まつり

政策の柱2 学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり

- 多様な活動を支援する
- 生涯学習・スポーツによるまちの活性化を推進する
- 生涯学習・スポーツの環境を充実する
- 図書館機能を充実する



区民学習支援事業(しながわ塾)

政策の柱3 伝統・文化を継承し親しむ環境づくり

- 区民の文化・芸術活動を支援する
- 将来を支える次世代を育成する
- 文化を継承・発展させる



親子能楽鑑賞会(喜多能楽堂)

政策の柱4 地域の活力を高める産業の振興

- 中小企業(地域産業)の経営と事業継続を支援する
- 地域産業における創業や企業連携を支援する
- 中小企業(地域産業)のチャレンジ(変革)と成長を支援する
- 多様な就業を支援する
- 区民の生活とにぎわいの中心である商店街を支援する



モンゴル高専卒業生の区内製造業への就職

政策の柱5 まちの魅力を活かした都市型観光の推進

- 品川ならではの観光コンテンツを充実する
- 観光情報の集約と多様な情報発信をする
- 多様な協働・連携で品川の魅力をさらに向上する
- 魅力的な環境を創出する
- 都市型観光を支える体制を充実・強化する



しながわ水辺の観光フェスタ

政策の柱6 魅力的で良好な都市景観の形成

- 地域特性を活かした景観形成を推進する
- 歴史あるまちの景観を再生・継承する
- 活力に満ちたにぎわいや調和の取れた景観を創出する



水辺周辺地区の重点地区化(天王洲地区)

政策の柱7 水と親しむみどり豊かなまちづくり

- 水と親しむことのできるまちをつくる
- 区内のみどりを増やす
- 区民とともに公園を育てる



区民によるみどりづくりの促進

2年度予算の主な項目(案)

- | | | | |
|------------------------------|----------|-----------------|----------|
| ● 中小企業の外国人材受け入れ支援強化 | 35,684千円 | ● 品川歴史館リニューアル準備 | 40,215千円 |
| ● 外国人介護人材受け入れとICT活用による人材確保支援 | 63,008千円 | ● 区民まつりの補助金増額 | 4,680千円 |
| ● 大森貝塚活用検討委員会経費 | 695千円 | | |



多様な生き方を認め合い 誰もがすこやかに暮らせるまちに



人生100年時代といわれる中で、子どもから高齢者までライフステージに応じた切れ目のない支援を進めるとともに、外国人との共生など多様な生き方を認め合いながら、誰もがすこやかに、いきいきと暮らせる社会をつくります。

人 すこやか 共生 分野の主な取り組み

政策の柱8 地域における共生社会の実現

- 包括的な相談支援体制や自立のための環境を整備する
- 相互理解と支え合いを推進する
- 地域でいきいきと暮らすための支援を推進する



支え愛・ほっとステーション(福祉の相談窓口)

政策の柱12 青少年の成長と自立の支援

- すべての青少年の成長を支援する
- 社会的自立に困難を抱える青少年を支援する
- 青少年の成長を支える環境を整備する



ジュニア・リーダー教室(冬合宿)

政策の柱9 生涯を通じた健康づくりの推進

- 区民の主体的な健康づくりを支援する
- がんなどの疾病対策や地域医療連携を推進する
- 安心して生活できる環境を整備する
- 区民を健康危機から守る



地区健康づくり推進委員会事業(ウォーキング)

政策の柱13 高齢者が安心して暮らせる環境づくり

- 地域包括ケアシステム^{*1}を推進する
- 医療と介護の連携を推進する
- 多様な入所・入居系施設の充実を図る
- 質の高い介護保険事業を運営する



品川区立上大崎特別養護老人ホーム

^{*1} 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続することができるように、「介護・リハビリテーション」「医療・看護」「保健・予防」「生活支援・福祉サービス」「すまいとすまい方」により包括的な支援・サービスが提供される体制のこと。

政策の柱10 子どもの笑顔があふれるまちの実現

- 子育て・親育ちを支援する
- 子育て力のある地域社会をつくる
- 子育て支援・教育機能を拡充・強化する



区立幼稚園でのラグビー体験

政策の柱14 障害のある人がいきいきと暮らせる環境づくり

- 相談支援体制を充実する
- 地域での自立した生活を支援する
- 障害者の社会参加を促進する



品川区立障害児者総合支援施設

政策の柱11 未来を切り拓く^{ひら}学校教育の推進

- 未来を切り拓く力を育む教育を推進する
- 学ぶ機会を保障する支援体制を推進する
- 地域とともにある学校づくりを推進する
- 良好な教育環境をつくる
- 教員の働きやすい環境を整備・拡充し、資質向上を図る



英語教育(品川オンラインレッスン)

政策の柱15 平和で人権が尊重され多様性を認め合う社会の実現

- 非核・平和意識を普及させる
- 人権尊重意識を向上させる
- 女性の活躍と多様な生き方を認め合う社会をつくる
- 外国人に開かれた地域社会をつくる
- 多様な国際交流を推進する



講演と映画のつどい

2年度予算の主な項目(案)

● 子ども家庭支援センターの組織化	54,955千円
● 区立児童相談所の開設準備の推進	1,113,902千円
● 子どもの食の支援～ガバメントクラウドファンディング	5,085千円
● 自立に向けた食の支援～フードパントリーの立ち上げ支援	5,810千円

● 区立保育園の改築・民営化	1,543,884千円
● 私立保育園の新規開設支援等	2,374,179千円
● 私立保育園における園庭等整備の支援	15,000千円
● 学校と幼稚園の改築	5,970,674千円



まちの安全を強固なものにし 住みよいまちに



誰もが安心して暮らせるよう、災害対策など人々の生活の基盤となるまちの安全を強固なものにするとともに、環境面なども含め持続可能な住みよいまちをつくります。

安全 あんしん 持続 分野の主な取り組み

政策の柱16 区民を災害から守る対策の推進

- 災害対策を総合的に推進する
- 市街地の防災性を高める
- 地域の防災力を強化する
- 応急活動体制を強化する



区内一斉防災訓練

政策の柱19 区民と進める交通安全のまちの実現

- 交通事故のないまちをつくる
- 子ども・高齢者の交通安全確保を推進する
- 安全で安心な道路環境を確保する



交通安全運動

政策の柱17 地球環境にやさしいまちづくり

- 低炭素社会への取り組みを推進する
- 循環型社会への取り組みを推進する
- 環境意識の向上を図る
- 生活環境対策を推進する



(仮称)品川区立環境学習交流施設 外観イメージ

政策の柱20 地域特性を活かした計画的なまちづくり

- 魅力的で活力のある都市空間を形成する
- 身近で住みよい生活圏を形成する
- 安心して生活できる住まいづくりを進める



開発が進む大崎駅周辺

政策の柱18 安全と安心を体感できる地域社会の実現

- 犯罪に強いまちをつくる
- 消費生活の安全・安心を確保する
- 国民保護措置*1を総合的に推進する



見守り人材育成消費生活教室

政策の柱21 快適な交通環境の整備

- 利便性の高い公共交通網を構築する
- 快適な道路環境を整備する
- 交通まちづくりを推進する



補助163号線の整備前後



*1 武力攻撃事態等および緊急対処事態から国民の生命、身体および財産を保護し、国民生活等に及ぼす影響を最小にするための、国、地方公共団体等の責務、避難・救護・武力攻撃災害への対処等「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」に規定された措置。

2年度予算の主な項目(案)

- | | | | |
|-----------------------|-----------|--------------------|-----------|
| ● 高齢者、ひとり親などの住まいの確保支援 | 8,108千円 | ● 放置自転車の指導警備・撤去・返還 | 136,874千円 |
| ● 接道不良宅地改善検討 | 2,563千円 | ● コミュニティバス導入検討 | 11,284千円 |
| ● (仮称)品川区立環境学習交流施設の整備 | 881,520千円 | | |

区政運営

変化に対応する持続可能な区政運営

本計画を推進していくためには、区民の幅広い意見を区政に反映させるとともに、行政だけでなく多様な主体の連携・協働をさらに促進していく必要があります。また、職員一人ひとりの能力の向上や変化に対応できる組織体制の構築が必要です。さらに、安定的な区政運営の基盤となる健全財政を堅持する必要があります。

区政の基盤と体制を整備し、区を取り巻く環境の変化に的確に対応しながら、将来にわたり持続可能な区政運営を推進します。

今後10年間の方向性

- 区民参画と情報発信を推進する
- 協働によるまちづくりを促進する
- 変化に対応して効果的・効率的に施策を展開する
- 中長期的な視点で施設マネジメントを推進する
- ICTなどの先端技術を活用して利便性向上を推進する
- 区民に信頼され実行力ある職員の育成と横断的な組織運営を推進する
- 地方分権・全国連携を推進する
- 健全財政を堅持する

2年度当初予算案の概要をお知らせします



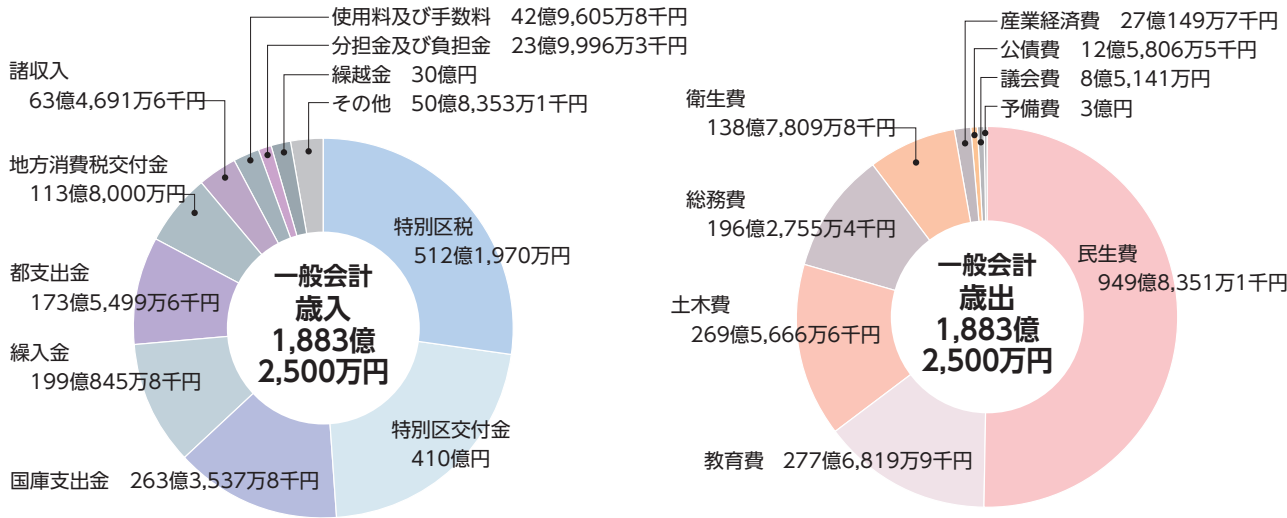
2年度予算は、東京2020大会開催およびそのレガシーへの重点的経費と新たな長期基本計画のスタートダッシュとするため、一般会計予算を前年度比プラス0.3%となる1,883億2,500万円とし、積極果敢に施策に取り組むものとなりました。



問い合わせ 財政課 (☎5742-6610 Fax5742-6870)

2年度当初予算案の財政規模（前年度比）

一般会計	国民健康保険事業会計	後期高齢者医療特別会計	介護保険特別会計	災害復旧特別会計
1,883億2,500万円(0.3%増)	350億5,265万8千円(3.7%減)	89億362万9千円(3.0%増)	261億30万3千円(2.4%増)	15億円(前年同額)



一般会計歳出総額を人件費や物件費などの性質別に分類すると次のようになります

金額(千円) 構成比(%)			金額(千円) 構成比(%)			※構成比は表示単位未満四捨五入のため合計と一致しない場合があります。
A	義務的経費	73,316,920 38.9	C	消費的経費	71,091,334 37.7	
人件費	26,342,023	14.0	物件費	38,515,572	20.5	物品購入、業務委託など
扶助費	45,716,832	24.3	補助費等	12,525,469	6.7	各種助成金や負担金など
公債費	1,258,065	0.7	繰出金	12,120,032	6.4	国民健康保険、介護保険など特別会計を支える経費
B	投資的経費	43,916,746 23.3	その他	7,930,261	4.2	施設の維持補修費など
道員との給与・退職金、議員の報酬など						
生活保護費、高齢者や障害者への手当、医療費助成など						
債権などの償還金						
道路・公園・施設の整備や用地取得など						

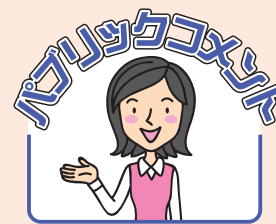
合計 (A + B + C) = 188,325,000千円

一般会計の歳出を1,000円にたとえると…

民生費 504円 保育園運営、高齢者や障害のある方などの福祉の充実のために ◎保育園運営・支援 ◎高齢者・障害者福祉施設整備 ◎生活保護費 など	教育費 147円 学校教育や図書館などの運営のために ◎一貫教育の推進 ◎学校ICT活用 ◎学校改築 など	土木費 143円 道路・公園などまちづくりや防災のために ◎道路・公園整備 ◎不燃化10年プロジェクト ◎住宅・建築物耐震化支援 など	総務費 104円 文化観光・スポーツや生活安全のために ◎東京2020大会開催関連事業 ◎品川区民芸術祭 ◎町会・自治会の活動支援 など
衛生費 74円 保健衛生や環境対策のために ◎各種がん検診、予防接種 ◎ごみ収集、資源リサイクル ◎環境学習交流施設整備 など	産業経済費 14円 商業・ものづくり活性化のために ◎中小企業・商店街活性化支援 ◎中小企業事業資金融資あっせん ◎若者等就業支援 など	公債費 7円 公共施設の整備などを目的に借り入れたお金を返すために ◎学校施設整備費などの償還 など	議会費 5円 区議会の運営のために
			予備費 2円



品川区長期基本計画素案(案)にご意見をお寄せいただきありがとうございました



令和元年10月1日～31日に品川区長期基本計画素案(案)へのパブリックコメントを実施したところ、182人(団体含む)の方から593件のご意見をいただきました。

皆さまからいただいたご意見の一覧は右のとおりです。

※お寄せいただいたご意見のうち、複数の分野に該当するものは分割して計上しています。

■「総論」および「長期基本計画全般」に関するご意見	32件
■「地域 にぎわい 活力」分野に関するご意見	77件
■「人 すこやか 共生」分野に関するご意見	225件
■「安全 あんしん 持続」分野に関するご意見	219件
■「変化に対応する持続可能な区政運営」に関するご意見	26件
■「その他」のご意見	14件
合計	593件

パブリックコメントにお寄せいただいたご意見と区のお考え方は、次の施設や区ホームページでご覧になれます

企画調整課(本庁舎5階)、区政資料コーナー(第三庁舎3階)、商業・ものづくり課(中小企業センター2階)、地域センター、東大井区民集会所、荏原区民センター、行政サービスコーナー、文化センター、体育館、保健センター、健康センター、品川歴史館、きゅりあん、スクエア荏原、メイプルセンター、O美術館、こみゅにていぷらざ八潮、品川産業支援交流施設、大崎ゆうゆうプラザ、平塚橋ゆうゆうプラザ



区ホームページはこちらからアクセスできます。

「品川区長期基本計画」の全文は、4月以降、区ホームページなどでご覧いただける予定です。

品川区長期基本計画の策定にあたって

区長あいさつ

中長期的な社会課題も考慮した未来志向の計画

品川区長 濱野 健



本計画は、時代の潮流や区民の多様なニーズを踏まえるとともに、少子高齢化や人生100年時代など、中長期的な社会課題も考慮した未来志向の計画です。

前計画から構成を大胆に変更し、政策分野を「地域」「人」「安全」の3つに大きく分けて分かりやすく示すとともに、変化の激しい時代だからこそ長期的な将来も見据え、①超長寿社会に対応する視点、②多文化・多様な生き方を尊重する視点、③強靱で魅力あるまちを未来につなぐ視点、④先端技術を活用して課題解決と発展を図る視点から成る「未来につなぐ4つの視点」により策定しました。

計画素案の策定にあたっては、品川区長期基本計画策定委員会において活発なご審議をいただき、幅広い視点で検討された答申をいただきました。

また、世論調査、在住者・来訪者アンケートなどを通じて数多くのご意見をいただき、パブリックコメントでは600件近くものご意見が寄せられました。

審議にご尽力いただいた策定委員会の方々をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただいた皆さまに対し、厚くお礼申し上げる次第です。

私は、この新しい長期基本計画を着実に実行し、区のさらなる発展を推し進めるとともに、訪れたい、住みたい、住み続けたいと思っただけの魅力的で持続可能な品川区を全力で築いてまいります。区民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

委員長あいさつ

区民と区との協働による先駆的な取り組み

品川区長期基本計画策定委員会委員長 青山 侑(都市調査会代表)



今回の品川区長期基本計画策定委員会では、区民や区内各種団体、区議会議員の代表、そして区の各種審議会などに参加する学識経験者が熱心に議論を重ねて案をつくりました。品川区だからこそできる、区民と区との協働による先駆的な取り組みといっても過言ではないでしょう。

基本構想、長期基本計画、総合実施計画そして毎年度の予算という各段階を通じて区民に案を示し、区民の意見を施策に反映させていく進め方は透明性に優れていて、区民の意思を区の施策に反映する方法として、また、縦割り行政の弊害を防ぐ方法として、自治体の民主主義にとって大切な手段です。さらに、区民にとって区の計画は、目標達成年次やそこに至るプロセス、そして計画を実施した結果、区民の生活がどうなるかなど全体像が分かるようになっているので区の政策のあり方について考え、議論するのにいい材料になると思います。

これからも新たな課題が発生することはあると思います。まちづくり、教育、福祉、環境、安全、その他いずれの分野をとっても、地域における区民の活動を主体として取り組んでいくことが大切です。それを基本に区の政策が形成されていくべきでしょう。

品川区には、永く受け継がれてきた地域の助け合いの伝統があります。基本構想と長期基本計画も、多くの区民の参画と協力を得てつくられました。この長期基本計画を活用していただければ幸いです。